　2017.8.20

第1回健全育成分科会　②自己肯定感の醸成

於：産業貿易センタービル地下会議室

・自己肯定感の醸成には、自信をつけさせることが大切。

・横並びの教育から子どもたちが自信をなくしていった。

・人間関係が希薄になっているのも要因の一つ。

・自己肯定感が低い原因の根底は何か？成長すればするほど複雑になる。

・自己肯定感が高かった時代、低くなっていった時代の背景を考える。どこからか間違った教育が始まったのでは？

・子どもに自信をつけさせる何かが足りなかった。

・自己肯定感の高め方について、子ども本人に確実に伝えられる方法は何か？

・活字だけではなかなか伝わらない。体験を通して共感的に理解することが必要。

　例）ヤングアメリカンズ　…　ワークショップでダンズとショーを体験。褒めちぎることで

　　　　　　　　　　　　　　　自信をつけさせ、一歩を踏み出すことが出来る。

・先生が褒めてくれたことで自分を肯定する力がついた。

・自分自身を客観的に評価し、自分で自分を褒められるようになるには、他人から褒められることが大事。

・自己肯定感を高める方法について、どうしたら周りの人たちに伝えられるか？

・自分が変われば周りも変わる。

・保護者に向けての発信であれば、講師による講演も有効。

・自己肯定感の低さのために、実際の社会生活上で困ったことは何か、まとめてみる。

・各地区内で起こっている情報を集めて持ち寄り、本音で話し合い、共感し合う場を設ける。

・DIGのような、生徒と保護者と先生が一緒に考えるシステムを作り、直接本人に働きかける。

【まとめ】

・PTAの活動であることから、保護者に向けて自己肯定感に関する情報を提供する。保護者が変わることで子どもや周りに伝えていく。

・高校教育現場での自己肯定感のとらえ方や、子どもたちにどのように伝えているのか、現状について把握する。

・家庭でできる自己肯定感の醸成の方法を考える。

【次回分科会】

　日時：9月23日（土）10時～12時

　会場：県民センター602号室

　内容：学校教育と自己肯定感についての勉強会

　　　　講師・教育委員会に要請中